ホームページ http://www.shinjuku-shinbun.co.jp

週刊 新宿新聞 THE SHINJUKU SHINBUN

10月28日 2015年（水曜日）（第1966号）

社章

発行所 株式会社新宿区新聞社 編集・発行人 喜田 勇 新宿区西新宿1－7－25 ワコーレ新宿第2ビル

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊60周年 ☎3369－6195 FAX3369－0759 （昭和32年12月4日第3種郵便物認可）

主なニュース

❷面 原宿表参道・歩道に溢れる訪日客
❸面 新宿東口・免税店新たに4店進出
❹面 街〝復興〟果たした西高久再開発
❹❺面 秋の火災予防運動（11月9～15日）
❼面 池袋はアニメ・ゲームで訪日客誘引

訪日客獲得でホテルの新設・建設が相次ぐ新宿東口

訪日外国人 ウェルカム商戦が過熱!!

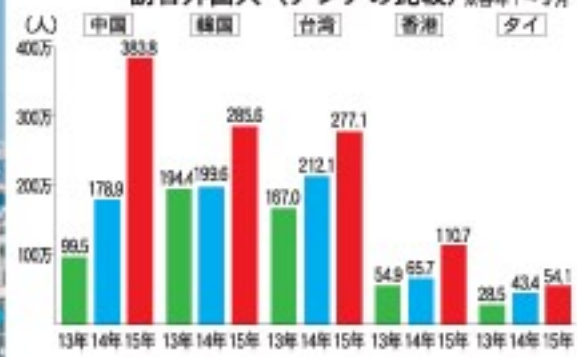
新宿・渋谷・池袋のインバウンド

依然、中国・アジア客が売上伸ばす

国慶節 伊勢丹12%、高島屋22%へ増加

中国バブル崩壊による懸念も何のその、新宿・渋谷・池袋の副都心地区の訪日外国人客の売上は急増。中国の祝祭日である今年の国慶節期間（10月1日～7日）、店舗全体の売上に占める免税売上の割合が新宿高島屋で22%、伊勢丹新宿本店で12%（1日～14日）に達した。両百貨店とも以前から訪日客が多く訪れる店舗と知られていたが、2年程前までは多い月でも5%台を上回るのがやっとだった。それが今では全体の店舗売上を向上させる要因となっている。急増する訪日客を受け入れるため、副都心地区ではホテルの新設・改装も相次いでいる。

訪日外国人（アジアの比較）※各年1～9月



国慶節の期間（10月1～7日）、新宿の百貨店は免税売上が前年に比べ1・6倍以上の伸びをみせた。同期間、免税売上が前年に比べ1・6倍に達した伊勢丹新宿本店では一定金額以上を購入した訪日客に桂心堂のおせんべいを先着配布するサービスを行った。国慶節を挟んだ1日～14日の間、全売上に占める免税売上割合は12%を記録、9月も10%に達した。この免税売上割合は一昨年度の1年間平均が3・5%だった。それが、免税品目が拡大された直後の昨年11月に7%となり、その後も増え続けた。

この伊勢丹を割合で上回ったのが新宿高島屋だ。国慶節の期間、免税売上は前年比1・6倍増となり免税割合は何と22%に達した。今年上期の3～8月の半年間でも免税売上は前年比2・6倍増となり免税割合は13%に達した。3～8月の訪日客の国別シェアは中国本土客が47%と約半数を占めた。7～8月は茶の湯体験、浴衣のレンタルを実施。9月～年末にかけては茶道体験、振袖のレンタルを行うなど日本文化を体験できるサービスを実施。8月からは周辺の千駄ヶ谷地区を回遊してもらおうと自転車を貸し出すサービスを行っている。

小田急百貨店新宿店では国慶節の期間中の免税売上は前年比で2倍となった。国別では中国本土客が7割となった。

訪日外国人免税売上

ルミネはこの5月より新宿のルミネエスト、ルミネ1・2、池袋などに免税カウンターを設置した。ルミネエストでは地下1階、地上6階の2ヵ所に設置。ルミネエストにおける売上に占める免税割合は5%で、免税売上は前年に比べ4倍増となっているという。

▼渋谷東急も躍進

渋谷地区の百貨店でも免税売上は伸びている。東急百貨店では本店・東横店・シンクス3店で9月、免税売上は前年比2・3倍となった。訪日客の国別シェアは中国本土・香港客が61%でトップ。本店にてリピーター獲得のためのスタンプカードの取り組みを国慶節期間より開始している。

▼銀座三越は3割に

都内百貨店で免税割合が高かったのが三越銀座店だ。昨年11月13%だった免税割合が今年9月には30%、10月1日～14日は33%に。訪日買物客の賑わいで新宿を上回る銀座の力をみせつけた。

伊勢丹新宿本店の免税カウンター

ホテルも過熱

プリンスホテルは改装

京プラは婚礼和装サービス

訪日客の受け入れ増を図るべく、新宿・池袋・渋谷のホテルでは、建設・改装の動きが相次いでいる。

藤田観光は今年4月、歌舞伎町に訪日客をターゲットにした「ホテルグレイスリー新宿」をオープン。宿泊客に占める訪日客比率は7割に達し、日本人を含めた客室利用率は9割程度で推移している。ビジネス客主体の新宿ワシントンホテルもセミダブルの部屋数を増やす改装を行っている。

プリンスは10月～来年2月にかけ新宿、池袋の2ホテルで改装を実施中だ。新宿プリンスホテルではセミダブルの数を増やすとともに地下1階のロビーと地上1階のエントランスを全面改装。フロントカウンターを拡張することでチェックイン・アウト時の混雑解消につなげるとともに1階のベルデスクを拡張、JNTO認定の外国人観光案内所の機能強化を図る。新宿プリンスの7～9月の日本人を含めた客室利用率は87%、うち訪日客比率は7割に達した。

▼京プラでは婚礼和装の試着サービスを実施

西新宿の京王プラザホテルは昨年度の訪日客比率が70・2%に達し、今年度に入ってからも7割台で推移している。日本人を含めた客室利用率は今年度上半期（4～9月）で87・7%となった。年間百ヵ国以上が訪れる同ホテルは日本の伝統文化を広める様々な取り組みを実施。10月15日からは婚礼和装の試着とフォトスポットを提供するサービスを開始。また11月には世界中から愛される小説「不思議の国のアリス」にちなんだアート展を実施する。

渋谷のセルリアンタワー東急ホテルは今年度上半期（4～9月）の訪日客比率は5割と前年の4割強から上昇。訪日客の比率ではアジア3割、北米3割、欧州3割、その他1割となっている。

▼コラム「秒読み」は第2面へ

集中豪雨による都市型災害対策

水害教訓にまちづくり

茨谷区長 長谷部 健

昨年6月29日、渋谷区において、典型的な都市型水害が発生いたしました。

わずか10分間程の降雨でしたが、1時間あたりに換算すると降雨量は百26㎜に達し、床上浸水や道路冠水等、かつてない被害が発生いたしました。

この水害を大きな教訓としてとらえ、洪水ハザードマップの活用促進、緊急水防資器材倉庫の設置、土のうの配布体制の強化等、様々な対策を行い、安全、安心のまちづくりを進めてまいります。

ハザードマップを改定

新宿区長 吉住 健一

新宿区では、時間降雨量75㎜対応を目指し、東京都とともに河川や下水道、透水性舗装などの整備に取り組んでいます。

また、妙正寺川の水位周知河川の指定に伴い、防災スピーカーや広報車など氾濫危険情報の伝達手順などの体制を整備しました。さらに、洪水ハザードマップを改定し、妙正寺川の外水氾濫区域を明示して区民の皆さまに周知を図っています。

今後も、気象情報をもとに迅速に全庁的な態勢を整え、集中豪雨などによる水害の発生に備えてまいります。

防災体制を一新

豊島区長 高野 之夫

豊島区では、従来から区民の皆さんへの雨水ますの清掃のお願いや道路の透水性舗装などに加え、今年5月の新庁舎移転により、防災体制を一新しました。新庁舎では最新の総合防災システムを整備し、区内51台の防災カメラによる迅速な情報収集を実現しています。また、浸水被害発生後には、既に導入している「被災者生活再建支援システム」により、被災者台帳と土地家屋台帳とを一体管理し、公平迅速な被害調査とその認定、り災証明の発行ができる体制を整えています。